

目指す交通体系について

前回会議で共有したこと

1.人口

人口構成の推移と将来推計、高齢化、人口の分布、地区の人口・高齢化率

2.人の移動（流入・流出）状況

3.公共交通機関の状況

町内の公共交通ネットワークの状況、町内各路線バスの利用状況、財政負担

4.移動環境

自動車保有台数及び運転免許保有者数、高齢者運転免許保有率、運転免許返納者数

5.観光入込客

6.公共交通に関するアンケート調査

現状整理

社会

人口減少と少子化・超高齢化社会の到来

住民

**自動車による移動が多い
公共交通の利便性が低いという声**

交通事業者

運転士不足やコロナ禍による厳しい経営環境

行政

公共交通を支えるための公的財政負担の増

前回会議の主な意見（１）

- ✔ **“日々の暮らしや産業などを支えるためにどのような交通があるとよいか”**を考えることが基本
- ✔ **需要を束ねる**ことで初めてバスが成り立っている。**バスの特性**とモビあるいはタクシーなどをどう使い分けていくのかを町の状況を考えながら、地域ごとに選ばないといけない。
- ✔ 様々な運送形態がある中で、**どのような交通体系**とするのか、**誰が担うのか**ということを含めてを議論しなければならない。
- ✔ **乗合タクシーの有効性**については評価。
- ✔ **“持続可能な形”**を考えていただきたい。小さく始めて徐々に大きく育てていくというような段階を踏むことも選択肢。
- ✔ **高速バス**も計画に位置付けるべき。

前回会議の主な意見（２）

- ◆ 人の移動の需要自体が小さくなりつつある。塾の送迎、学校の送迎など、公共交通を維持するためには**需要の開拓**が大事。
- ◆ 今回の乗合タクシー実証実験のサービスが新しい需要を少し生み出した。また、**生み出す可能性**がある。
- ◆ 企業の人たちも住民。このような計画を作る時には、**企業の需要**もしっかり押さえないといけない。
- ◆ 今の時代の人が“**便利**”で“**快適**”だと思えるようなサービスを提供していかないと、自動車から公共交通への転換は簡単ではない。
- ◆ **アプリケーション**を使った形の交通サービスを考えていくことは、すごく意味があり大事。
- ◆ バス待ち環境、乗継拠点が快適になっていくってことが、結果として**トータルのサービス**を良くしていく。

方向性（案）

取組 1

需要に応じた
便利で快適な

交通サービスの“実現”

取組 2

新たな需要の“開拓”



持続可能な公共交通

主な需要

平日・朝夕

高校生
障害者
高齢者

×

学 通
勤 通

平日・昼間

主 婦
+ 業務利用（事業者）
高齢者

×

物 買
院 通

休 日

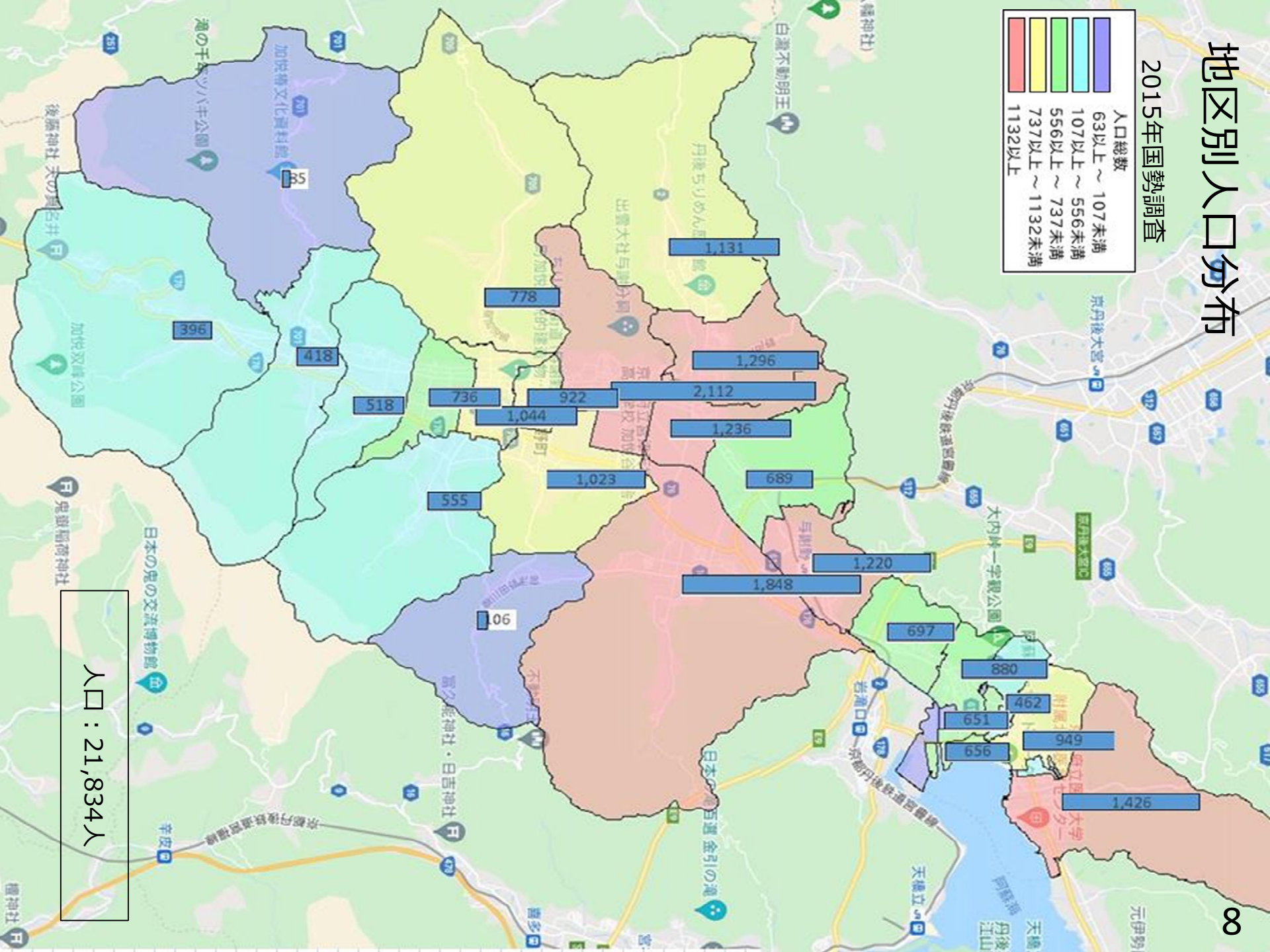
高齢者
来町者

×

物 買
光 観

地区別人口分布

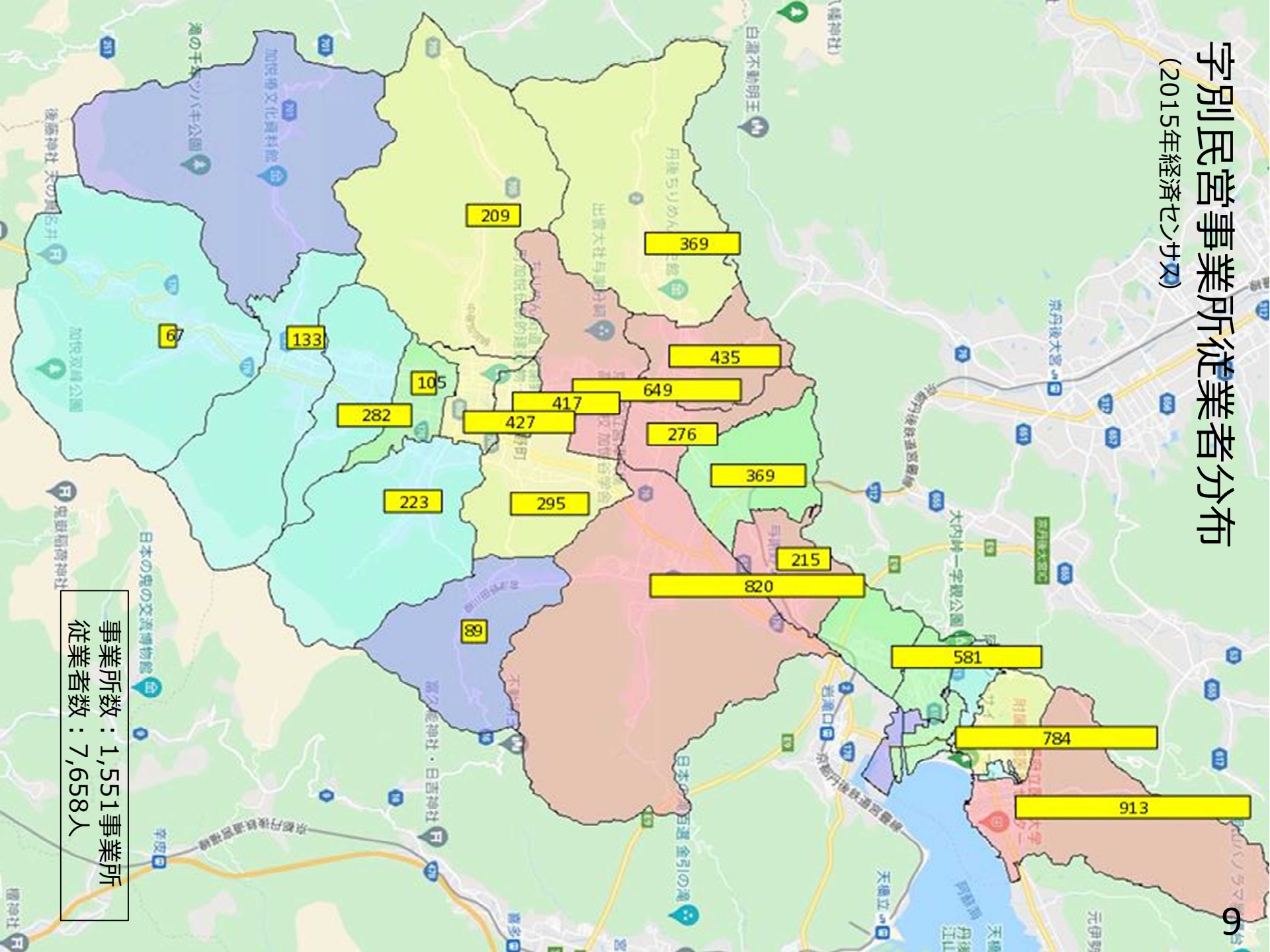
2015年国勢調査



人口: 21,834人

字別民営事業所従業員分布 (2015年経済センサス)

事業所数：1,551事業所
従業員数：7,658人

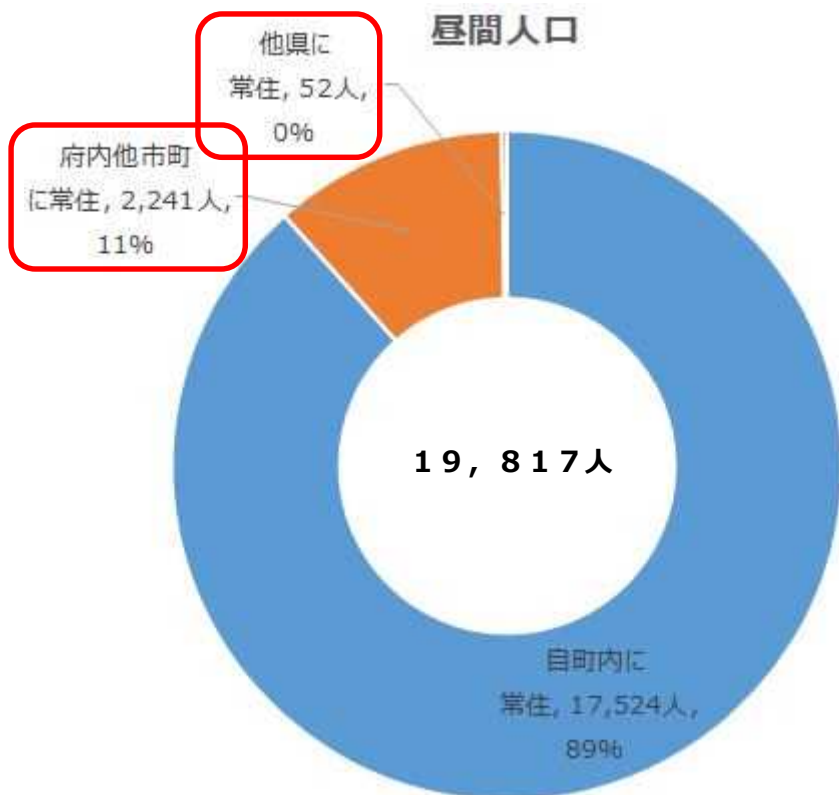


昼間人口・夜間人口

昼間人口：19,817人
 夜間人口：21,834人
 (昼夜間人口比率：90.76%)

【注記】昼夜間人口比率

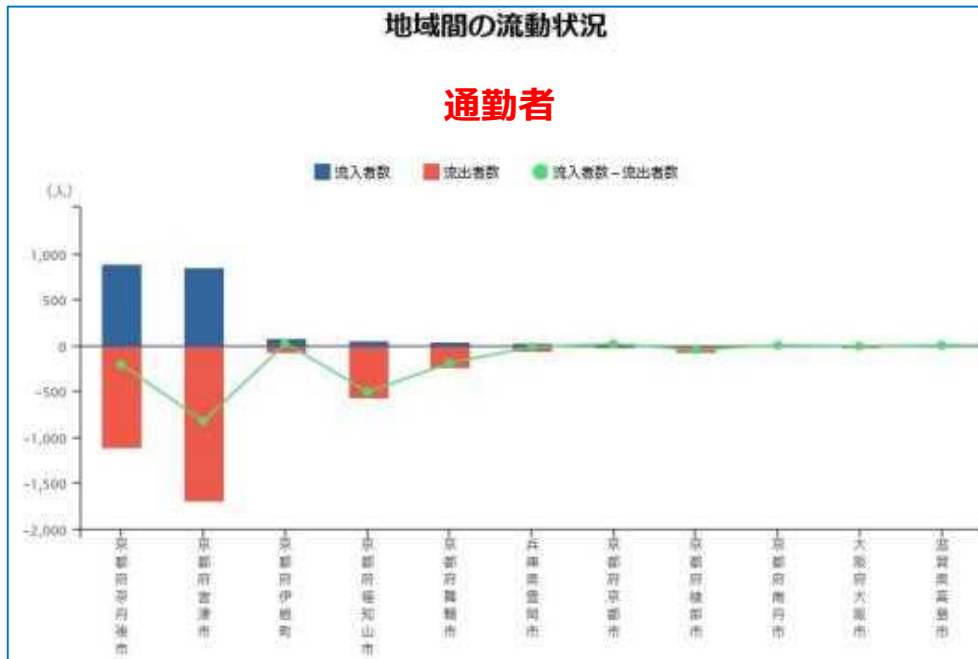
夜間人口100人当たりの昼間人口の割合であり、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。



流入者数・流出者数

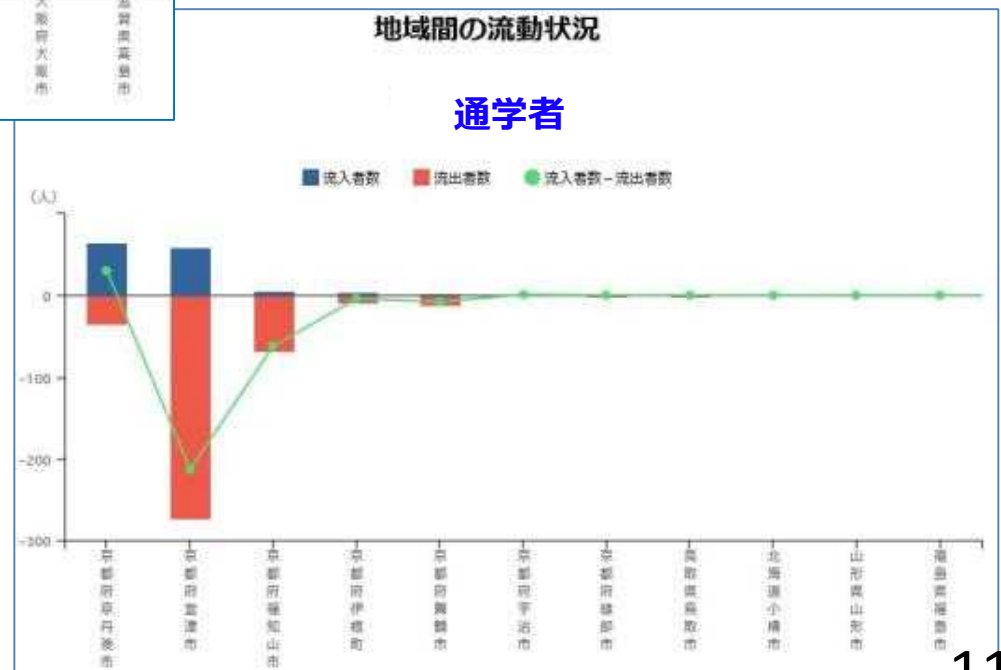
地域間の流動状況

通勤者



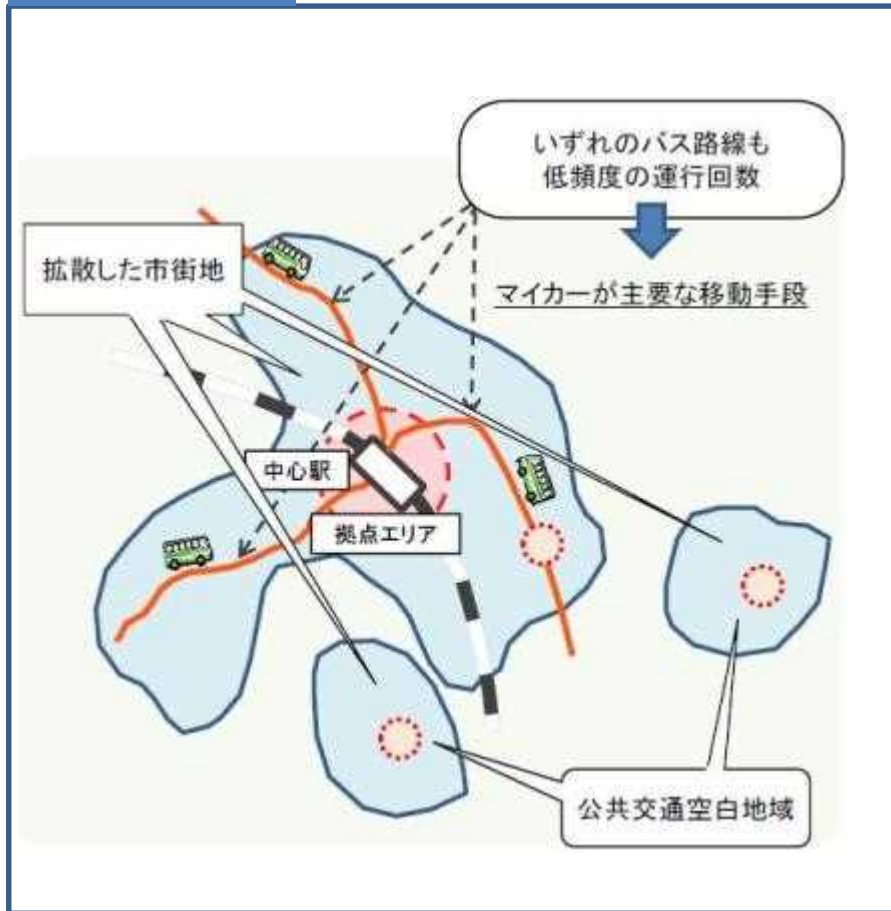
地域間の流動状況

通学者

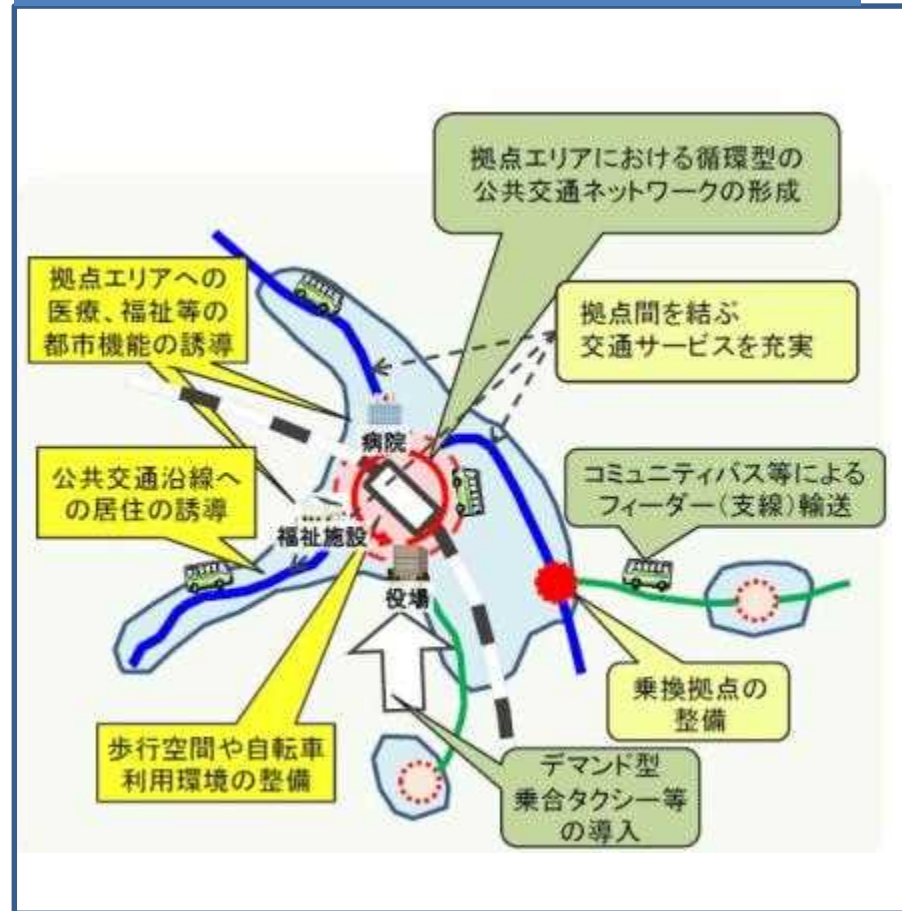


(参考) コンパクトなまちづくりと一体となった公共交通の再編のイメージ

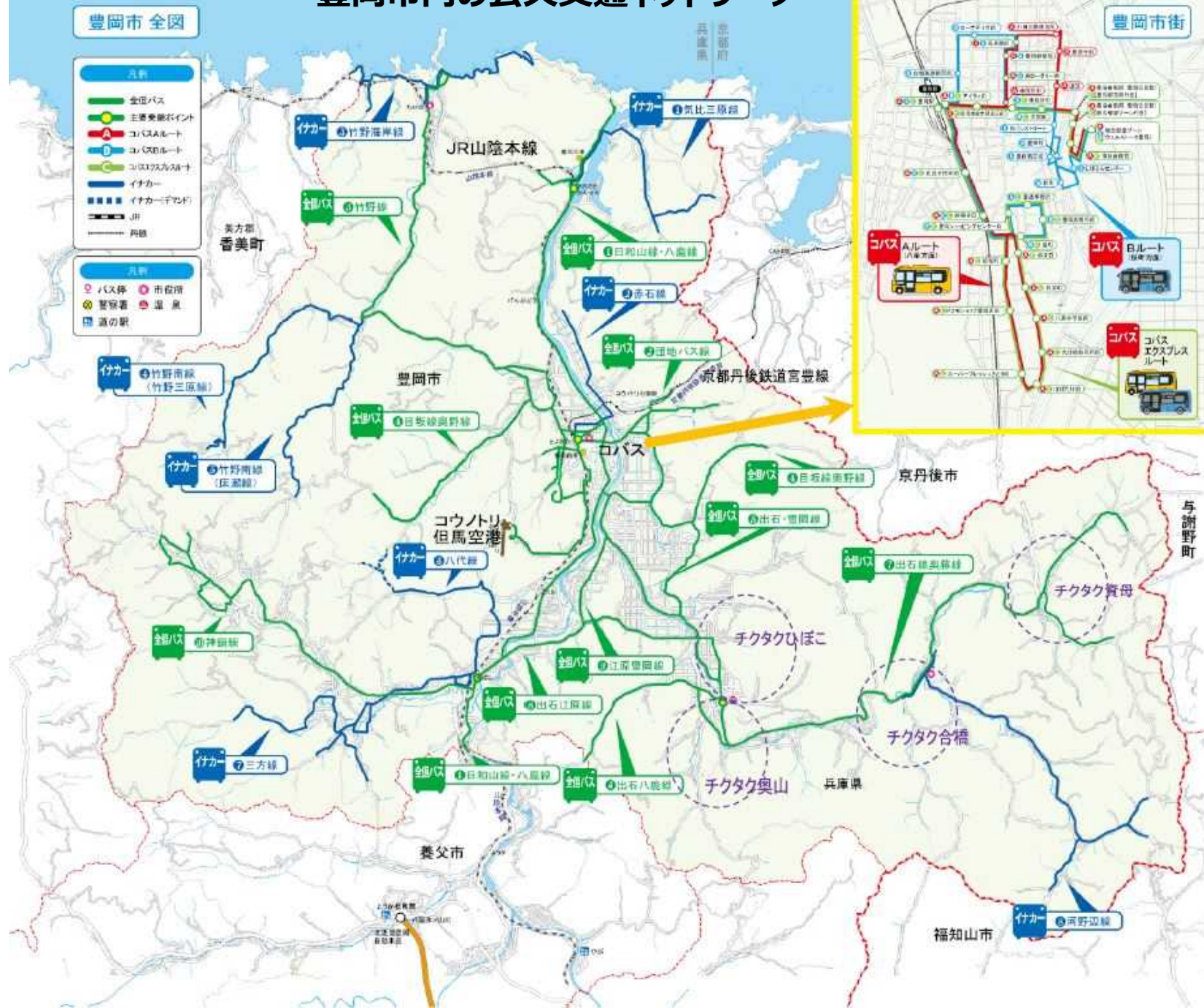
現 状



まちづくりと一体となった公共交通の再編

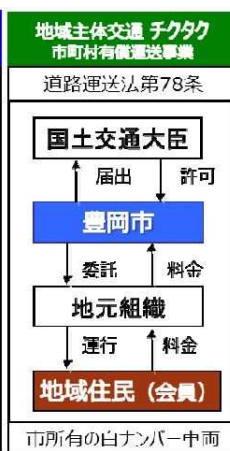
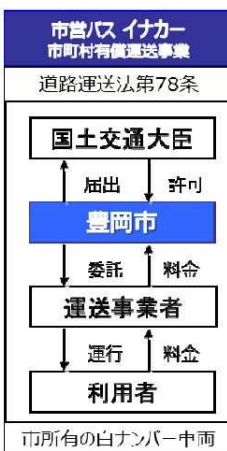
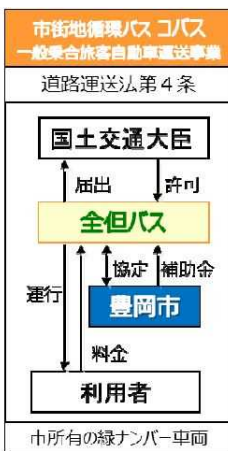
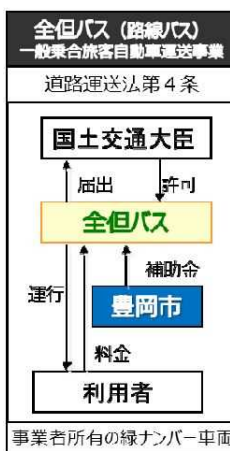


豊岡市内の公共交通ネットワーク



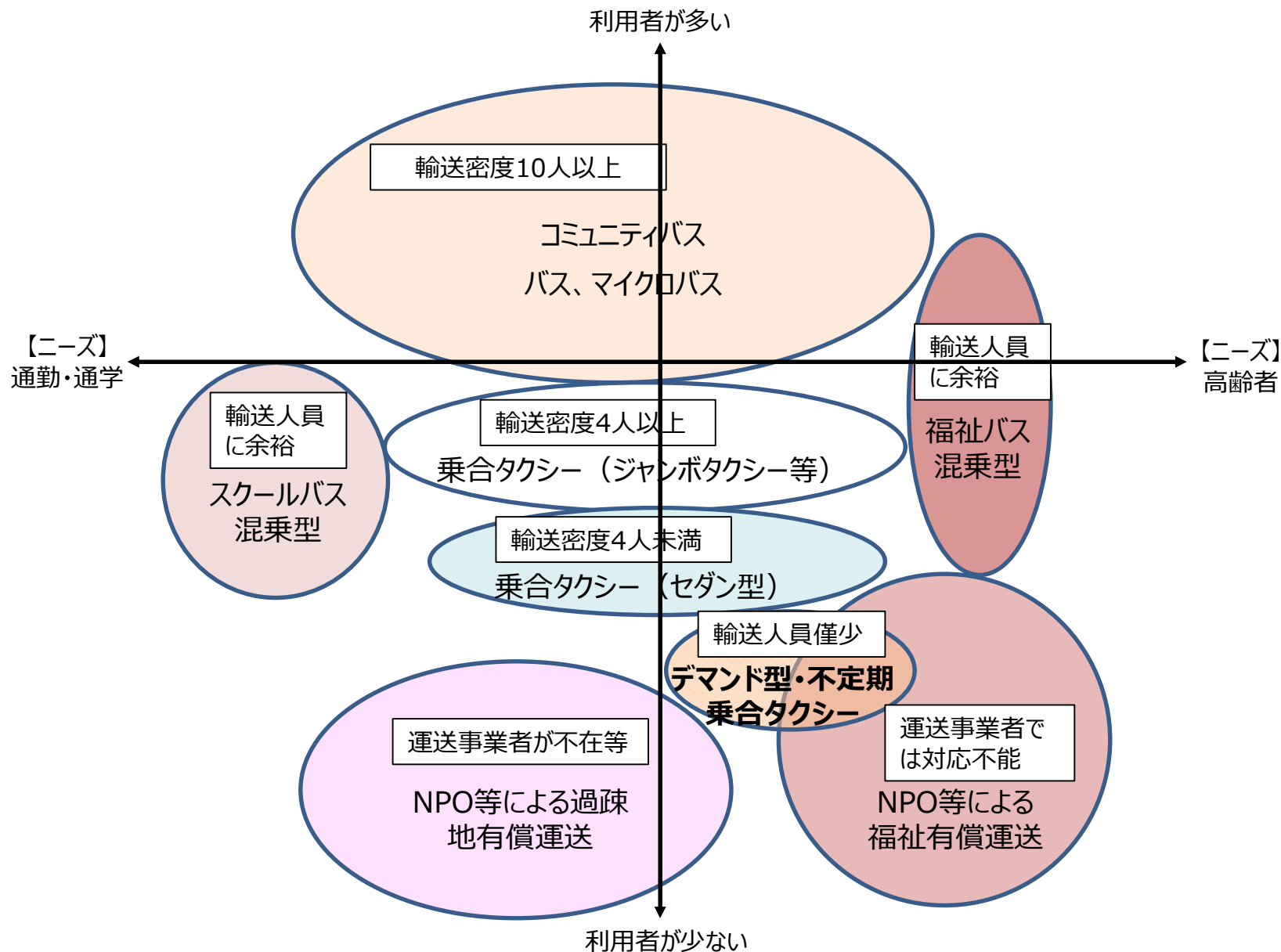
豊岡市内の公共交通機関の役割

交通機関	役 割
航空機	但馬地域と全国の主要都市を結ぶ基幹的な広域交通
鉄道(特急列車)	但馬地域と国土広域幹線鉄道(新幹線)を結ぶ広域交通 豊岡市と兵庫県内の主要都市を結ぶ県内の広域交通
高速バス	豊岡市と近畿圏主要拠点(大阪・神戸・姫路)を結ぶ広域交通
鉄道(普通列車)	豊岡市と但馬地域内の市町・隣接地域(京都府北部・鳥取県東部等)を結ぶ都市間交通 豊岡市内の地域拠点間を結ぶ市内幹線交通
路線バス	豊岡市と但馬地域内の市町を結ぶ都市間交通 豊岡市内の地域拠点間を結ぶ市内幹線交通 豊岡市内各地域の中心と地域を結ぶ地域内生活交通
市街地循環バス「コバス」	豊岡市中心市街地における路線バスの補完としての市内幹線交通
市営バス「イナカー」	地域の中心部や拠点・主要バス停と地域内の集落を結ぶ地域内生活交通
地域主体公共交通 「チクタク」	需要が少なく、公共交通が成り立たない地域における地域内生活交通



	都市圏間 (全国)	都市間 (近畿内)	近隣都市間 (但馬内)	地域拠点間 (市内)	地域拠点内	地区内	利用 目的	企画 主体
航空機	◎						ビジネス 観光など	国県
鉄道(特急)	◎	◎	○					
高速バス	◎	◎						
鉄道(普通)		○	◎	○				
路線バス			○	◎	○			
コバス					◎	○		
イナカー					◎	○		
チクタク						◎	日常生活	市

(参考) 利用形態による運行イメージ



市営バス 豊栄竹野線 (デマンドバス) 火・木・土曜運行 (令和4年3月12日現在)

市営バス 宇川線 (デマンドバス) 月・水・金曜運行 (令和4年3月12日現在)

毎週
火・木・土
運行

豊栄竹野線

「間人」～「道の駅てんきてんき丹後」及び「筆石」～「此代」間の国道178号線上を除きフリー乗降制

運賃 (円)	①三宅橋～⑨矢畑	⑩岩木～⑭間人
それぞれの区間内	100	100
区間をまたがる場合	200	

【運行時間】午前 8 時～午後 5 時まで
(午前 8 時は車庫 (丹後市民局) 出発時刻です。
地域によっては時間を調整させていただきます。)



【市営バス回数券 販売価格一覧表】

種 類	通常料金との差額 (1 枚あたり)	通常料金との差額 (1 枚あたり)
一般回数券 3,000 円回数券 (200 円券 20 枚綴り) 1,500 円回数券 (100 円券 20 枚綴り)	1,000 円 500 円	50 円 25 円
中高生回数券 2,000 円回数券 (200 円券 20 枚綴り) 1,000 円回数券 (100 円券 20 枚綴り)	2,000 円 1,000 円	100 円 50 円

※丹後町内の販売所は、丹後市民局及びデマンドバス車内

※予約状況によっては、ご希望に添えない場合もあります。
※日・祝日及び年末年始 (12/31～1/3) は運休
※冬期間 (12/1～3/15) は天候や道路事情等により運行を見合わせる場合があります。

電話予約のときは

- ①お名前 ②お電話番号 ③ご利用希望日
④乗降場所 (行きと帰り) ⑤利用人数 をお伝えください。

※みんなで支え合い乗り合うバスです。運行時間の調整等についてご理解とご協力をお願いします。

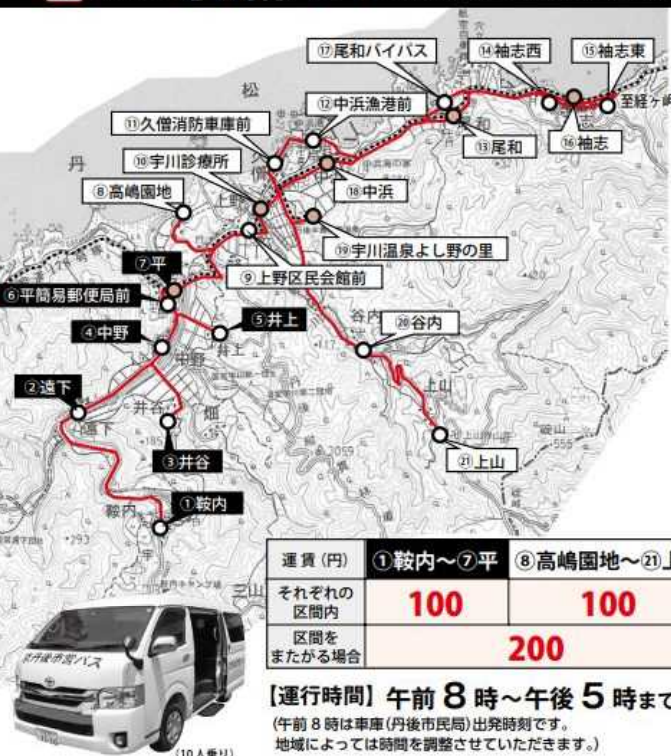
予約受付 NPO法人 気張る！ふるさと丹後町 (運行委託業者)

利用予約を
お待ちしております。



市営バス 宇川線 (デマンドバス) 月・水・金曜運行 (令和4年3月12日現在)

毎週
月・水・金
運行



運賃 (円)	①鞍内～⑦平	⑧高嶋園地～⑲上山
それぞれの区間内	100	100
区間をまたがる場合	200	

【運行時間】午前 8 時～午後 5 時まで
(午前 8 時は車庫 (丹後市民局) 出発時刻です。
地域によっては時間を調整させていただきます。)

宇川線

全区間フリー乗降制
※路線上ならどこでも乗り降りできます



電話
予約制

090-7889-0900

受付時間 毎日 午前8時30分～午後5時まで
(最終受付は利用希望日前日の午後5時まで)

予約の5分前にはご指定のバス停でお待ちください。

ささえ合い交通

2016年5月の運行開始以降、全国各地から大きな注目を集めている「ささえ合い交通」は、スマートフォン（情報通信機器）を活用した新しい運送サービスです。NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」の皆さんが、地域のために、地域の力で毎日運行しています。

2018年2月には、「地域再生大賞」のブロック賞（近畿で最優秀賞）、2020年11月には、過疎地域自立活性化優良事列表彰、2021年10月には、「あしたのまち・くらしづくり活動賞」の振興奨励賞を受賞するなど、全国的に注目されている運行です。

①まずはUber（ウーバー）のアプリを登録しましょう（はじめての利用時のみ）

②次はスマホで配車をかけましょう（車が来て乗車します）



1 「Uber（ウーバー）」のアプリを押す。

2 地図が表示されます。「行き先は？」を押し、行き先を入力。

3 支払方法を確定させます。「現金」の場合は、変更操作を。「クレジットカード（自動決済）」の場合は、そのまま「4」へ。

4 黒帯の「ささえ合い交通を確認」→「配車を確定」を押す。（配車要請の完了）



料金の目安

京丹後市丹後庁舎～峰山駅
約2,300円

丹後町竹野～京丹後市弥栄病院
約1,900円

丹後町中浜～京丹後市丹後庁舎
約1,500円

※料金は、道路事情により変動します。

配車依頼は下記に
電話でもできます

ささえ合い交通に関するお問い合わせ先

運行事業者 NPO法人 気張る！ふるさと丹後町
090-5052-5963

受付時間／8:00～20:00

NPOホームページ <http://kibaru-furusato-tango.org/>

運行日 年中無休（毎日）

運行時間 8:00～20:00

運賃 最初の1.5kmまで480円、以遠は120円/km加算

対象者 地域住民、観光客など

こもの 菰野町のりあいタクシー (三重県)



◎ 運行日時

毎日 8時～17時 (12月29日～1月3日は運休)

◎ 利用できる人

どなたでも、何歳の方でも利用できます。



乗車するためには、事前に予約が必要となります。予約方法は電話予約とWeb予約があります。

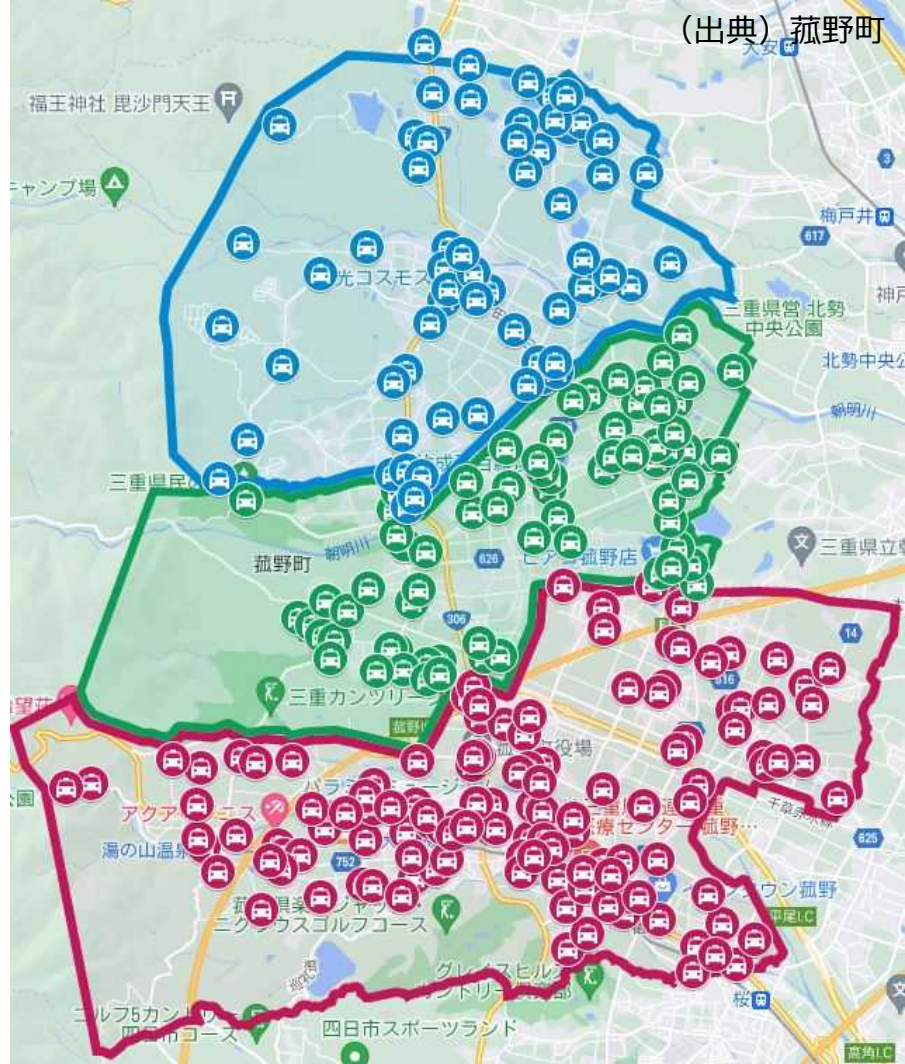
電話予約、Web予約ともに、乗車の7日前から予約ができます。

● 電話予約

- ・コールセンター（有限会社尾高）に電話します。
- ・利用する日、乗車予定時刻、乗車場所、降車場所、利用する人数、氏名、電話番号をお伝えください。8時から9時の間に利用される方は前日までに予約してください。
- ・日曜日はコールセンターが休みです。前日までに予約してください。

● Web予約

- ・スマートフォンやパソコンなどからインターネットを使って、のりあいタクシーの予約(Web 予約) ができます。
- ・令和3年10月から7日前から、最大2回分の予約ができるようになりました。



◎ 運賃

- ・運賃は1人ごとに必要となります。
- ・運賃の支払いは**現金**です。降車時に車内でお支払いください。

●のりあいタクシーからコミュニティバスへ乗り継ぐ場合
のりあいタクシー降車時に、運転手から乗継券を受け取り、コミュニティバス料金支払時に運転手に渡してください。コミュニティバスの運賃が無料になります。

(上段) 大人 (下段) 小学生、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方

		降車場所		
		北部エリア	中部エリア	南部エリア
乗車場所	北部エリア	400円 (300円)	800円 (600円)	1200円 (900円)
	中部エリア	800円 (600円)	400円 (300円)	800円 (600円)
	南部エリア	1200円 (900円)	800円 (600円)	400円 (300円)

		乗車・降車場所	
		けやき・菰野町役場	ピアゴ菰野店
乗車・降車場所	北部エリア	800円 (600円)	400円 (300円)
	中部エリア	400円 (300円)	400円 (300円)
	南部エリア	400円 (300円)	800円 (600円)

		降車場所		
		北部エリア	中部エリア	南部エリア
乗車場所	Web予約	200円 (100円)	600円 (400円)	1000円 (700円)
	北部エリア	600円 (400円)	200円 (100円)	600円 (400円)
	中部エリア	1000円 (700円)	600円 (400円)	200円 (100円)

どんな **交通体系** を目指すか

役割分担をどうするか

【対応案】

- 京都丹後鉄道



取組 1

需要に応じた 便利で快適な

交通サービスの“実現”

- 地域公共交通体系の再構築
- 接続の取れたダイヤ調整
- バス待環境・乗継拠点を快適に
- 交通事業者・行政が連携する仕組みづくり
-

取組 2

新たな需要の“開拓”



持続可能な公共交通

各路線名

—●— : 京都丹後鉄道

丹海バス路線

— : 伊根・蒲入・経ヶ岬線

— : 与謝線

— : 峰山線

— : 福知山線

— : 峰山四辻線

—●— : 高速バス

凡例

● : 京都丹後鉄道駅

● : 主な目的地エリア

● : 主要施設・乗継ポイント
起終点（バス停）

■ : 複合施設

● : 病院

